

此告依御注の文は方婦と子供を看るに御附記を乞ふ

世の教員  
父兄諸君  
幸に愛兒

# 教育童話

の爲に紹  
介の勞を  
取られよ

本書は小學校賞與品及び家庭の讀本に最も適當せり

## 第三篇 教育童話 菅丞相

附註の語  
丑の三十四年  
一月發賣  
定價金八錢  
郵税金貳錢

東は奥州の果より西は筑紫の極みに至るまで、一縣一郡の間天滿天神の社なきはなし、天滿天神とは何ぞ、即ち菅丞相道真公これなり、道真公は延喜の朝に仕へて治績休明、勳功顯赫たりしことは人の略ぼ知る所なり、ことに其人品高く學術深く、千有餘年の後ちに至るまで、教師學童の爲めに尊敬せられ、その像を掲げて、戸々これを祭り、家々これを祀らざるはなし、此の如きに至る所以のものは、必ず其然る所あればなり、是を以て近來菅公を研究するもの漸く多く、日に月其書を見るに在れるは誠に喜ぶべき事共なり、然れども其書たるや大方君子の覽に供するもの、みにして兒童の爲めにするもの少なし、多稼散人つねに之を懷にし、こゝに筆を執て菅公の傳を起し、文章極めて平易に、兒童走卒をして一讀了解し易からしめ、且つ畫工をして、毎頁圖畫を挿し、一讀の下、菅公の人を爲りて想起して、自から感奮興起の心を發せしむ、ことに明治三十四年は菅公の一千九百零一年祭を行ふの事あり、公の事を研究するものは是より益々多からしむ、この際菅公の何人なるやを人に問まれて知らずといはざれば、耻孰れかこれより大なるものあらん、速かに一本を座右に備へて公の人と爲りを知れ。

附録には「牛の話」あり、短篇のお伽話にして、無邪氣なる所兒童の讀むに任せて亦一興

### 教育 童話

第一編 大黒天續編  
第二編 大黒天續編  
第四編 孝の鑑

以下順次出版す

近刊

定價金八錢 郵税金貳錢  
定價金四錢 郵税金貳錢  
定價金四錢 郵税金貳錢  
定價金四錢 郵税金貳錢  
定價金四錢 郵税金貳錢

(中付の二)

發行書肆 本日橋本區本町三丁目番地 金昌堂

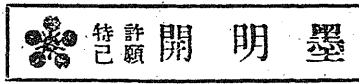
此廣告依御注文の方婦人子供を見たる旨御附記を乞ふ

同 同 全 國 發 賣 元

# 受合 憂等 結固 腐敗 盡く 改良大

田口精爾發明製造

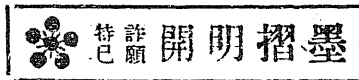
しよめて色墨をつけてはすらすら



並 金四錢と金六錢  
上 金拾錢と金拾五錢  
同朱墨並金四錢上金拾錢  
容器付參錢増人小上下俱好次第

**付函硯** 特許已願  
第一號金八錢第二號金拾參錢第三號金卅錢  
懷中用。朱。茶。肉。入。付。長。角。型。各。金。二。五。錢。

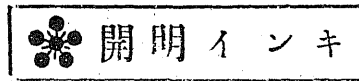
大東 廣唐 本東 開明 硯の 儀爾 來高等 師範學校 尋常 師範學校 附屬 當市 諸大公 立小學 於教育 諸大家  
傳京 物販 石市 京市 街批 評を 承り 駁回 の 大改 良を 施し 今や 全く 實地 上の 最好 結果 を 得 荷に 其 韌 硬  
馬市 町日 二本 丁橋 目區 市日 四丁 東橋 目區 市日 二十三 番地 區  
にして 而かも 溶け 方の 極めて 易く 使用 し 盡く する まで 決して 腐敗 固結 等の 憂なく  
又 光澤 の 麗麗 なる 一目 驚か ざる もの なし



定價 { 並金參錢と六錢  
上金五錢と九錢

同 校算 教市 川盤 育學 品學 校教 科用 發科 售用 書賣

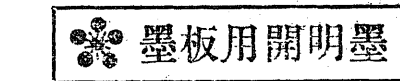
今般 習慣 上の 爲め スリテ 便利 なる 墨を 製造 せり 此墨 は 從來 の 硯 には 勿論 木。 プリキ。 ガラス。 陶器 製の 硯面 或は 木板 塗板 上 にも 三四 回 すれば 直に 濃厚 と なり。 子 巴。 ニシ 等 少 なく 其 上 床 上。 石 上 等に 抛 ちて 決して 碎く る 事 なき 故 小 學校 等に 特 に 妙 用 なり



定價 { 小瓶入金參錢と金四錢  
壹升金卅錢と金五拾錢

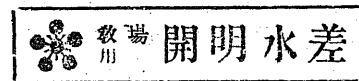
開明 インキ は 光澤 麗麗 なる 眞 黑色 に して ペン 先 の きびる 憂なく 走り 方 極めて 輕 快 なり 特 に 毛筆 に 使用 して 書 畫 共に 上 等 和 墨 に 更 に 異 なる 事 なき 點 に 於て 一 層 高 評 を 得 たり 誠 に 希 ふ 其 東 洋 墨 と 西 洋 インキ と の 兩 用 を 兼 たる 佳 良 愉快 の 妙 用 な 御 試 みて 玉 に 入 事 なる

金 利 見 合 會 社 支 店



定價 { 型 墨 板 三 兩 實 用 分  
弱 入 金 拾 錢 墨 の 金  
八 錢 其 他 人 小 種 々

日 光 爐 火 等 に 暖 め て 用 ふ る と き は 如 何 に 多 量 に ても 忽 ち に 使 用 出 來 其 美 麗 に して 愉快 なる 色 を 呈 す る こ と 在 來 墨 の 比 に 非 ら ず



定價 金廿五錢以上種々

此 器 は 片 手 に 其 取 手 を 持 ち たる 儘 拇 指 の 作 用 に て 一 滴 二 滴 隨 意 に 水 の 出 し 止 め を 行 じ 得 ら れ 且 つ 衛 生 上 水 の 腐 敗 を 防 ぎ 轉 覆 の 際 水 の 溢 る 事 な し 實 に 小 學 校 教 場 に 一 二 個 を 用 ひ て 唯 一 の 品 なり

利 見 合 會 社 支 店 昌 堂

(中付の二)